

# あなたの声を届けます！ 〜コミュニティFMとしてできること〜

エフエムベイエリア株式会社(BAY WAVE)

代表取締役

横田 善光



読者の皆様こんにちは。

宮城県塩竈市でエフエムベイエリア株式会社「愛称…ベイウェーブ」というコミュニティ放送の代表をしている横田と申します。

この度は公益社団法人全国行政相談委員連合協議会様より感謝状をいただき、スタッフ一同大変恐縮しております。

行政相談委員の皆様は、市民生活の中でも重要な役割を担っていると感じております。

また、日頃は行政相談委員の皆様  
様の活動に対し放送を通じてお知

らせることが我々ラジオ局の使命と感じており、情報提供や番組へのご出演いただくことは我々としても大変心強く、特に、毎年行われている「行政相談パネル展」や「行政相談所の開設」などでは市民生活に親身に寄り添う姿が印象的で、少しでもお役に立てればと思っております。

この度、当社の番組での広報活動などが評価をいただいたことに対し、スタッフ一同感謝申し上げます。

さて、当社は、1997年に宮

城県「塩竈市」「松島町」の一部を放送エリアとするコミュニティ放送局として開局し、お陰様で今年27周年を迎えることができました。

開局2年前の1995年に発生した「阪神淡路大震災」を教訓に、近い将来、高い確率で発生が予測されていた「宮城県沖地震」に備え、そして地域情報をきめ細やかにお伝えし、地域活性・地域振興を目的に市民のより良い生活のために設立されました。

当時は、全国的にラジオに対す

る必要性が高まっていたこともあり、各地で開局ラッシュの時期でもありました。

当社スタジオは、JR本塩釜駅前であり、ラジオ放送以外にも地域のお祭りやイベントなどの企画運営や動画の撮影などが主な仕事としてありますが、地域の子どもの育成にも力を入れています。

具体的には、「DJ体験」で地域の子ども達が番組制作に携わりスタジオから放送することも多々あり、実際に放送していただきます。一緒に番組制作をすると緊張していた子供達が活き活きとしてマイクに向かい

話をすることが多く、我々も力が入ります。

また、2020年の塩竈市政施行80周年から始まりました「しおがまっ子夢応援プロジェクト」で

は毎年子ども達の夢を公募し、その夢を叶えるといった事業も塩竈市とタッグを組んで行っています。今年で四回目となりますが、未来の塩竈を担う子ども達と触れ



局の外観



委員出演番組収録風景

合いながら夢に向かって一緒に活動することでもやりがいを感じる事業です。

当社のある塩竈市は、宮城県のほぼ中央の小さな港町で、魚市場では近海マグロの水揚げが全国有数で、お寿司屋さんの数も多く、また、奥州一之宮「志波彦神社・鹽竈神社」が鎮座する門前町として多くの方が訪れます。

祭りも多く、特に「塩竈みなと祭」は日本三大船祭りの一つとして有名で、御座船2隻に志波彦神社・鹽竈神社の神輿を奉安し、松島湾を巡幸する神輿海上渡御は平安絵巻そのものです。

基幹産業は、水産・水産加工業で蒲鉾やおでんなど練り製品が有名で地酒もあり、とても住みやすい街です。

日本は海に囲まれた島国ですが、地震を始めとする災害が多く、台風や特に近年はゲリラ豪雨や落雷、線状降水帯発生による長雨の被害をよく耳にするようになりま

した。

地球温暖化の影響が大きいと思いますが、震災が発生したらどうする?と、当社ではよくミーティングを行います。

これは常日頃から危機感を共有して、いざという時に備えるためなのです。が、速やかに放送して情報を伝え安全安心なまちづくりに寄与できるように心掛けていました。

そんな毎日を送っている最中に13年前の「東日本大震災」が発生し、残念な



塩竈みなと祭り 御座船

がら当社は津波による被害で放送ができず、スタジオから避難を余儀なくされました。

過去に宮城県沖地震は経験していましたが、想定していた以上の揺れと、その後の津波で今まで想定していた被害とは異なるものでした。

災害時に備えていたのにも関わらず放送中断は正直無念としか言いようがなく、スタッフと一夜を高台の駐車場で過ごし作戦を練りました。避難しながらカーナビのテレビ映像を見て、「大変なことが起きてしまった!」、「私は悪夢をみているのか!」、とにかくスタッフの家族の安否とその後の放送再開を考えましたが、どうなるか?などと様々な思いが交錯しながらも冷静な判断をすることが大切だと自分に言い聞かせて、翌朝スタジオに戻ったものの、やはりスタジオは津波による被害で浸水し放送再開は難しい状況でした。しかしながら、隣接していた「宮

城ケーブルテレビ(株)(愛称…マリネット)」とタッグを組み、まずテレビよりもラジオを優先して復旧させよう!、地域放送としてやるべきことは頑張ろう!と、塩竈市役所内に仮設のスタジオを設置し、何とか地震発生2日後に電波を再発射することができました。

最近知ったことですが、東日本大震災後の混乱時に、行政相談委員の皆様は市民の様々な相談を聞き、時には市町村に対し要望を伝えていたという記事を読んだことがあります。

また、近年発生した災害でも被災地では様々な支援策が発表されますが、情報格差があり、知っている方、知らない方で復興に差が出てしまいます。

そのような状況下でも行政相談委員の方が親身に相談に乗っている話を聞き、おそらくご自身も少なからず被災していたと思われるですが、使命として地域の復興に尽

力されたことに対し敬意を表するとともに頭の下がる思いで一杯です。

我々は小さいメディアではありますが、そのような際にはお力になれるよう努めて参りますので、今後何かございましたら我々のようなコミュニティ放送を思い出していたけると幸いです。最後になりますが、行政相談委員の皆様は今後益々のご活躍をご祈念し結びとさせていただきます。